

# おてら

# 報 恩 講

## 十一月十六日(水)

午前十一時より  
正午 おとき・法話



国宝「安養御影 劃本」 京都・西本願寺蔵  
「風雲聖人絵伝(万福寺所蔵)」 京都・西本願寺蔵  
国宝「教行信証(坂東本)」 京都・東本願寺蔵

常例十六日講  
毎月十六日午後一時より  
お経練習・法話会  
写経会  
毎月第二・四金曜日  
午後一時より

浄土真宗のご開祖親鸞聖人の御祥月命日に  
「ご宗祖のご苦勞を偲び感謝し、そのみ教え  
を味あわせていただき、明日の私の生きる  
糧とさせていただきます。法要です。」

ぜひ一度、ご参加下さい。

## 悪 人

住 職 蒲 原 靈 英

北朝鮮情勢が緊迫していますが、本当にミサイルが着弾したら何十万人も死傷者が出ます。そうでなくても毎日、日本中で死傷者が出る。極悪非道の事件が起こっています。昔より多くなっている気がします。確かに悪いことは悪いし、してはいけないことはしてはいけないのですが、でも、本当に「自分は絶対にあのような酷い事や悪い事はしない」と言い切れる人がいるでしょうか。私は言えません。例えば、まだ長男が幼い時、周りには私を含めいわゆる「ワンオペ育児(家事も育児も一人で行う)」のお母さんばかりで、虐待死のニュースが話題にのぼると、皆口々に「でも、分かるよね。紙一重だよ」と話していました。また、殺人なんて絶対にしないと誓っていても、もし可愛我が子を無残に殺されたら、私は犯人を殺しに行くかもしれません。誰でも、「明日は我が身かもしれない狂気を孕んでいるのです。」

親鸞聖人は、「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」と言われました。「人は誰でも、状況次第で何をすべきか分からない」という意味です。もつと言えば、「どんなに極悪非道な事もやりかねないのがこの私である」という深い自省の言葉です。親鸞聖人は、無反省のうちに自らを善とし、「悪をなした他者を否定しようとするような態度を厳しく批判します。兎角私達は、「自分は正しく他人は間違っている。自分は善くて他人は悪い」という自己都合の判断しかできません。そして、自分の価値観を他人に押し付けようとします。そもそも、人間の正邪・善悪の判断基準や倫理観など、簡単に覆るような不確実なものでしかありません。戦時中と戦後では、180度変わってしまいました。戦争自体が、相手の言い分を認めずに自分の言い分を認めさせようとする最たるものでしょう。最近では、何かあるとすぐ匿名でネットに非難の言葉を書き連ねて炎上。自分の言葉に責任を持つて堂々と実名で言えば良いのに、皆きつと自分も非難される側の人間になり得ることが分かかっていて、それが怖いから匿名でしか言えないのでしよう。そんなずるい姿もまた人間の真実の姿です。様々な価値観や考え方を認め、「悪人」である私のいのちも、許し許されて今ここに生かされているいのちであるということを忘れずに、お念仏申してゆきたいものです。

合 掌

# 中日法要・永代経法要



9月20日から26日迄、秋彼岸会が執り行われ、全国各地よりたくさんの方々が参拝されました。

23日午前11時から、ご本堂で中日法要が厳修され、お経とご住職のご法話の後に、婦人部の方々手作りのお齋を頂きました。

24日午後7時から、平成29年度浄光寺総永代経法要が、進納者の方々をお招きして営まれました。献灯・献花・献供物の後、読経が始まり参拝者の方々が順次ご焼香。御文章拝読の後、ご住職より永代経やお彼岸の由来についてご法話があり、お供物と記念品が下付されました。永代経は、お寺が存続する限り永代仏を供養してもらおうという目的で、昔は、穀物、野菜、反物等が進納され、貧民救済にも使われていました。できる人ができる時にさまで頂くと、相互扶助の精神で、現在まで脈々と受け継がれて来りました。

## 月忌納め法要

(おみがき)

十二月十六日

午後一時より

仏様へ先祖様に一年の感謝を

申し上げますよう

## 野村幸雄会長ご逝去



野村 幸雄 会長

8月31日、護持会会長の野村幸雄様のご逝去されました。享年81歳でした。

永きにわたり、護持会会長並びに浄光寺総代として浄光寺を支え、盛り立てて下さいました。そのご功績を讃え、ご本山よりお香と弔慰状を、当寺より感謝状を贈らせて頂きました。

謹んで哀悼の意を表し  
お念仏申し上げます

## 除夜会法要

十二月三十一日

午後十一時半より

除夜の鐘を

ついてみませんか

豚汁の振る舞いがあります

